

# 真岡工業高等学校

地域連携教員	高野 史晃 実習教員	地域連携教員歴	3年
--------	------------	---------	----

## 1 コーディネーターについて

### ○自治会とのつながり

地域連携の取組の初めとして、毎年実施していた授業公開の案内を学校が所在する自治会に配布したいと考えた。しかし、どこへ連絡すればよいかわからなかったため、教頭が卒業生に問い合わせたところ自治会の区長の連絡先にたどり着き、回覧板に案内チラシを入れてもらえることになった。このつながりをきっかけとし、区長が地域の窓口の役割を担ってくれている。

### ○社会福祉協議会とのつながり

市の社会福祉協議会の職員がコーディネーターとなり、福祉施設等の要望を把握して、学校に活動を依頼してくれている。社会福祉協議会との連携は、学校長が協議会主催の会議に委員として参加していることがきっかけとなっている。

## 2 コーディネーターとの連携の実際

### ○音楽部と自治会の連携

音楽部は、以前から市の音楽祭に出演し、練習の成果を発表していた。昨年度、音楽祭での発表を見た学校近くの自治会の方から、音楽部の生徒に自分の地域で演奏会を実施してほしいとの依頼があり、公民館主催の行事に参加し、地区の人を対象に演奏会を行った。このように、音楽部は部の活動として地域連携を行ってきたが、窓口となっている区長を通して自治会の回覧板に演奏会の案内を入れたところ、広く地域住民に情報を提供することができ、新たな方が演奏会を見に来てくれるようになった。部の活動が地域に広がってきている。

### ○「防災キャンプ」の取組を通じた地域との連携

真岡工業高等学校は、平成 26 年に県の「県立学校未来創造推進事業」の委託を受け、特色ある教育活動として防災教育の充実と地域防災の活動拠点としての活動に取り組んでいる。学校が災害時の避難所指定を受けていることから、学科の特徴を生かし、非常用電源装置や防災かまど等を製作し、避難所に必要な設備の充実を図った。その設備を使い、災害時を想定した「防災キャンプ」を夏に実施した。実施にあたり、自治会を通して周辺地域の住民にも参加を呼びかけたが、今年度は残念ながら地域からの参加はなかった。しかし、案内を出したことで様子を見に来てくれた方もいて、顔をつなげることができた。キャンプの活動を通し、今後に向けてよいつながりができた。



防災キャンプの様子

### ○「真心工房」の活動

真岡工業高等学校では、「ものづくりを通じた地域貢献」を目指し、生徒が学校で学んだ成果を生かして地域住民の困ったこと(建具の調整、網戸の張り替え等)をお手伝いする「真心工房」というボランティア活動を行っている。最近では、個別の依頼だけでなく、市の社会福祉協議会からの依頼もある。

### ○「真工高だより」の作成・配布

地域の方々にとって、高等学校は小・中学校と比べて地元の自分たちの学校という印象がなく、足を運ぶことも少ないため、学校の教育活動を知ってもらったり、理解してもらったりする機会がない。そこで、学校の情報を地域に積極的に発信していくため、地域の方を対象にした「真工高だより」を地域連携教員が作成、回覧板を通して配布している。内容は、授業公開・学校公開、音楽部の演奏会の様子等、地域連携活動に関するものを主に掲載している。

## 3 成果と課題

### ○成果

自治会の区長が地域側の窓口の役割を担ってくれるようになってから、地域の方に学校に来てもらう機会や学校の学習内容を知ってもらう機会が増えたと感じる。高等学校が地域にとって少しずつ身近な存在になっているのではないと思う。また、区長とのつながりができたことで、地域への情報発信の機会が増え、多くの方々に学校のことを知ってもらえるようになった。このことから、今まではつながっていなかった地域の方が学校に来てくれるようになったり、連絡をしてくれるようになったりして、地域連携に関する活動が少しずつ広がりを見せている。

「真心工房」の活動を通して、生徒は、学校で学んだ成果を地域に還元することができ、自分の技術や制作物が地域のために役立っていることを見たり感じたりすることができている。地域の方が喜んでくれている姿を見ることは、生徒にとってとてもよいことであると感じている。

### ○課題

現在は特にないが、これから連携が広がることで、新たな依頼が増えることも想定される。依頼が増えることはうれしいことではあるが、依頼の内容が生徒が対応できる簡易的なものでなくなってしまった場合、対応ができなくなってしまう恐れがあると考える。

**《地域の皆様方へ》**

**～真工高だより～** 12月号

発行 真岡工業高校  
住所 真岡市寺久保1-2-9  
電話 0285-82-3303

寺久保地区の皆様には、日頃より本校の教育にご協力ご理解を賜り誠にありがとうございます。本校の様子を真工高だよりにてご紹介させていただきます。

---

**真工高「ものづくりをととした地域防災の取組み」**

**真工版防災キャンプ**

2014年度から取り組んできた「県立学校未来創造推進事業」も今年度で最終年度を迎えました。今年4月のNHK取材の際には、地域の方に来校していただき本校の取り組みを実際にご覧いただきました。お忙しい中、ご協力いただきありがとうございます。  
8月23日～24日には、真工高版防災キャンプを行い、公益社団法人 若手県民農士会 太田代健二氏を講師にお招きして講演会およびバッククッキングを行いました。



バッククッキングの様子      防災キャンプの様子

**ピザ釜が完成しました!! ～地域人材育成事業～**

本年度の地域担い手人材育成事業で、株式会社 家守様にご指導いただきながら防災かまどの機能拡充を目指しピザ釜を製作しました。



ピザ釜制作の様子      ピザ釜小屋

---

**真工高 音楽部によるJAZZコンサート開催!!**

今年も「真岡工業高校音楽部 定期演奏会」を開催します。部員一同楽しい演奏会となるよう日々練習を重ねていますので、是非ご来場くださるようお願いいたします。

**第6回 音楽部定期演奏会**

白 時 平成29年1月14日(土)	
開 場 14:00	※入場無料
開 演 14:30	
演奏内容 第1部 Jazz 第2部 J-pop	場 所 真岡市民会館小ホール

真工高だより